

■参考例その6：業務に必要な資格～資格を取得してスキルアップ～

○申請企業：介護福祉業 資本金1,000万円 従業員数31人

○研修実施について：D社では業務効率の改善の一環として、介護事務の基礎能力向上を推進することにした。その実現に向けて、介護福祉事務の基礎を学べる講座を職員に受講させ、受講者の能力に応じた資格試験を受験させることにした。

○研修対象：令和5年度の新規採用者4名（うち2名が職場体験付き求人での雇用、1名がスキルアップ支援金受給者）／社外研修

<研修内容>

(1) 研修の目的等

- ・研修の目的：介護事務の基礎力を高める
- ・資格取得等：介護事務管理士（R）、介護事務実務士（R）、介護報酬請求事務技能検定試験、ケアクラーク技能認定試験 ケアクラーク（R） など
※いずれも介護報酬請求事務を主とする資格
- ・業務との関連性：書類作成における正確性・作成スピードを向上させる
- ・従前の研修との比較：今回が初めての研修等内容



(2) 研修カリキュラム

研修日	時間	場所	内容	講師
7月2日（日）	10:00～17:00	介護〇〇センター××校	介護保険制度の概要講義	介護〇〇センター講師
7月9日（日）	10:00～17:00		介護レセプト作成演習	
7月16日（日）	10:00～17:00		パソコンを使用したレセプト入力演習	
7月23日（日）	10:00～17:00		介護報酬について	
7月30日（日）	10:00～17:00		総合まとめ	

※各日1時間の休憩を含む

(3) 補助対象となる金額

▶経費の予定額

- ・講座参加費 31,000円×3人=93,000円（テキスト代込み・消費税抜き）
- ※補助の対象となるのは3名（職場体験付き求人雇用者2名、大阪府スキルアップ支援金受給者1名）
- ※講座受講料36,000円（税抜）－キャンペーン割引5,000円=31,000円（税抜）が対象となる
- ・研修受講時間：30時間
- ※週休2日のシフト勤務制を採用しており、研修日は勤務日に該当する

▶補助金額

- ① 研修経費 93,000円×1/2=46,500円 基準額 8,000円×5日×3名=120,000円
低い方の46,500円
- ② 賃金相当額 @1,100円×30時間×3名=**99,000円**
- ③ 補助対象金額①+②=**145,500円**

(4) 参考例のポイント

- ・目指す資格は一つだけに限られておらず、共通する内容はまとめて研修をすることができること
- ・研修は勤務日に行う必要があり、必要に応じて振替休日の取得等、適切な対応をする必要があること
- ・経費は実際に支払った金額が対象となるため、割引等分は対象とならないこと